

こんにちは 松坂みち子 です



日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< 238 2015.9.2 連絡先 402-1622 >

9月定例会終了

8月31日は議会最終日でした。

日本共産党市議団を代表して森下議員が、議案第1号、第3号の2件について反対討論を行いました。内容は次の通りです。「議案第1号は補正予算であり、災害による復旧費、国の補助金の返還金など必要なものや妥当なものも含まれており、そのすべてに反対するものではない。しかし中に、次年度以降も小学校給食の民間委託を続けるための債務負担行為が含まれている。学校給食は、コスト削減を優先させるのではなく、公的責任でこそ子どもたちの発達を保障する学校給食が実施できるという観点に立って、直営に戻すことも視野に入れ議論すべきであり、こういう問題点を含む議案には賛成できない。第3号は、手数料条例にマイナンバー制度における通知カード、個人番号カードの再発行の手数料を定めるものだが、マイナンバー制度は安全を保障できているとは言い難い。これまでも拙速な実施はしないよう求めてきた。問題点や不安を市が積極的に国に意見を上げることが当面必要であり、賛成できない」。また、臨時福祉給付金や子育て世帯臨時特例給付金が2割近く受け取らない人がいるまま、国にお金を返していることから、制度の趣旨が最大限生かされる努力をするべきと意見を述べました。

議員発議では、「市全体が一丸となって、国体を成功裏に終わらせよう」との決議が全会一致で、「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を図るための予算措置を求める意見書」は賛成多数（共産党は賛成）で採択されました。

また、2014年度企業会計（水道・工業用水道）、本（一般会計、16の特別会計）決算特別委員会がそれぞれ置かれ、日本共産党からは企業決算には森下、姫田両議員、本決算には中村議員と私松坂がそれぞれ入ることが決まりました。

戦争法案 芸能人も異議

渡辺謙さん「一人も兵士が戦死しないで70年を過ごしてきたこの国」「（憲法は）世界の誇れると思つ、戦争はしないだ」と「ポケットに忍ばせた拳や石ころよりも最大の抑止力は友人であることだ」
中居正広さん「なんか動かなければこれ通つてしまつてしまうぞつていうような意識を持つていけることは、すごくいい」。
長淵剛さん「どんな時でも戦争に行くのは子どもたちだ」「それだけの人が（略）戦争をしないように訴えるべきだ」
他に、笑福亭鶴瓶さん、樹木希林さん、竹下景子さんなど、テレビ番組やツイートなどで、勇気ある発言が広がっています。（しんぶん赤旗8月30日付より）

みち子のひとりごと ありがと りじゅ

の」と写真をアップ。
茨城に住むようになった初期のころからの、子どもたちと一緒に育つた動物たちは、みんないなくなりました。20年もたてばしかたのないこと。最後まで命を全うさせてあげられてよかったと思ふことにします。



8月の終わりごろ、次女から連絡がありました。「りじゅが死にました」。りじゅとは、17、8才のおばあちゃん猫、長男が十代のころバイクで連れて帰ってきた。連れてきたものはしかたないと、飼うことにした我が家の2匹目の猫でした。
私たちの食べているものに興味津々。何でも食べたがる食いしん坊。誇らしげに外からモグラらしきものをくわえて帰ってきたこともありました。
茨城から引越すときに次女が連れて行き、結婚する時も一緒。夫になる人も猫好きでよかったね、と話したものでした。
長男も自分が連れてきたことを覚えていたようでした。「お疲れ様」とメール。三女は「7月に撮ったもの」と写真をアップ。



熱い心で 大門みきし

被災地

東日本大震災発生の日被災地入り。復興に大きく貢献している「中小企業グループ補助金」（現在605グループ、実績4546億円）では、制度創設から中小企業庁と連携。その後も中小企業庁と一緒に現地調査をおこない、制度の拡充改善に取り組んでいます。

宮城県石巻市の水産加工会社ヤマトミの千葉雅俊社長は、震災の年の光景が忘れられません。石巻商工会議所の大会議室。会場いっぱい集まった200社近い被災者事業者を前に、大門さんが中小企業庁の役人と一緒に来て言いました。「必ず制度を作ります。希望を捨てずに事業再開に頑張ってください」。千葉さんは「頑張れば再建できると、力強く思いました」。

被災地では2011年、民主・自民などの議員連盟が仙台空港周辺（名取市）にカジノをつくろうと、国会にカジノ解禁の議員立法を提出する動きになりました。大門さんは現地を調査し、ブローカーが被災地の窮状につけこんで土地買収を進めようとしている実態を把握。地元市議とともに告発しました。

国会予算委員会で「賭博で復興とは被災者を愚弄するものだ」と、野田首相（当時）に迫り「私の内閣ではカジノはやりません」と答弁させ、被災地カジノ構想は立ち消えになりました。



8月26日、日本共産党和歌山県委員会は、来年夏の参議院選挙で、和歌山選挙区に坂口多美子さんを擁立することを発表しました。

こんにちは 坂口多美子です



はじめまして、来年夏の参議院選挙で和歌山選挙区から立候補の決意を表明いたしました、坂口多美子と申します。
私は昨年まで、看護師として和歌山生協病院で働いてきました。社会保障の改善がどんどん進む中で、医療従事者のがんばりだけでは患者さんの命を守ることができないケースが増えていきます。こういった状況をだまってお見過ごしわけにはいかない、どんどん進む社会保障の改善を何としてもストップさせ、誰もが平等に安心して医療が受けられるようにしなければならぬ、この強い思いが今回参議院選を目指すきっかけともなりました。この一年、全力で頑張ります。よろしくお願ひします。



辺野古基地阻止のたたかい

— 沖縄辺野古の非暴力のたたかいと
沖縄での自衛隊の動きについて —

講師 大久保康裕氏
沖縄県平和委員会事務局長
安保廃棄沖縄統一連事務局長（専従）

日時 9月9日（水）18:30～
場所 勤労者総合センター大会議室

主催：和歌山県平和委員会 488 7355（里崎）